

KY-CVCA可変直流電源仕様書

概要

KY-CVCAシリーズの電源装置は、スイッチング技術を使用した可変電源装置です。出力電圧及び電流はVRにて広範囲に可変する事が出来ます。

装置には、力率改善回路装備され、入力電圧は100V,200V兼用です。

表示機能として、出力電圧、電流用のデジタル表示器が2個装備されております。

型式 KY-CVCA56-30 最大電圧56V、最大電流30A

共通仕様

定格 連続

冷却方式 内部ファンによる強制冷却

外形構造 据え置きタイプ 開放型

寸法 400×120×240 概略重量7.7Kg

環境条件

周囲温度 10 ~ 45

相対湿度 90% (条件 結露しない事)

入力

入力電圧、周波数、相数 AC85 ~ 260V、47 ~ 66Hz、単相

効率及び力率 効率 84%以上 力率 95%以上

出力仕様

出力電圧 出力最大電圧の10% ~ 100% まで連続可変

電圧設定変動率 設定値の±2%以内

出力リップル 設定電圧の1%(実効値換算) 以内

出力電流 最大出力電流の10% ~ 100%まで連続可変

電流設定精度 設定値の±3%以内

絶縁

絶縁抵抗 10M 以上 入力 出力 筐体、入力 出力

絶縁耐力 AC1500V 入力 筐体、入力 出力

AC500V 出力 筐体

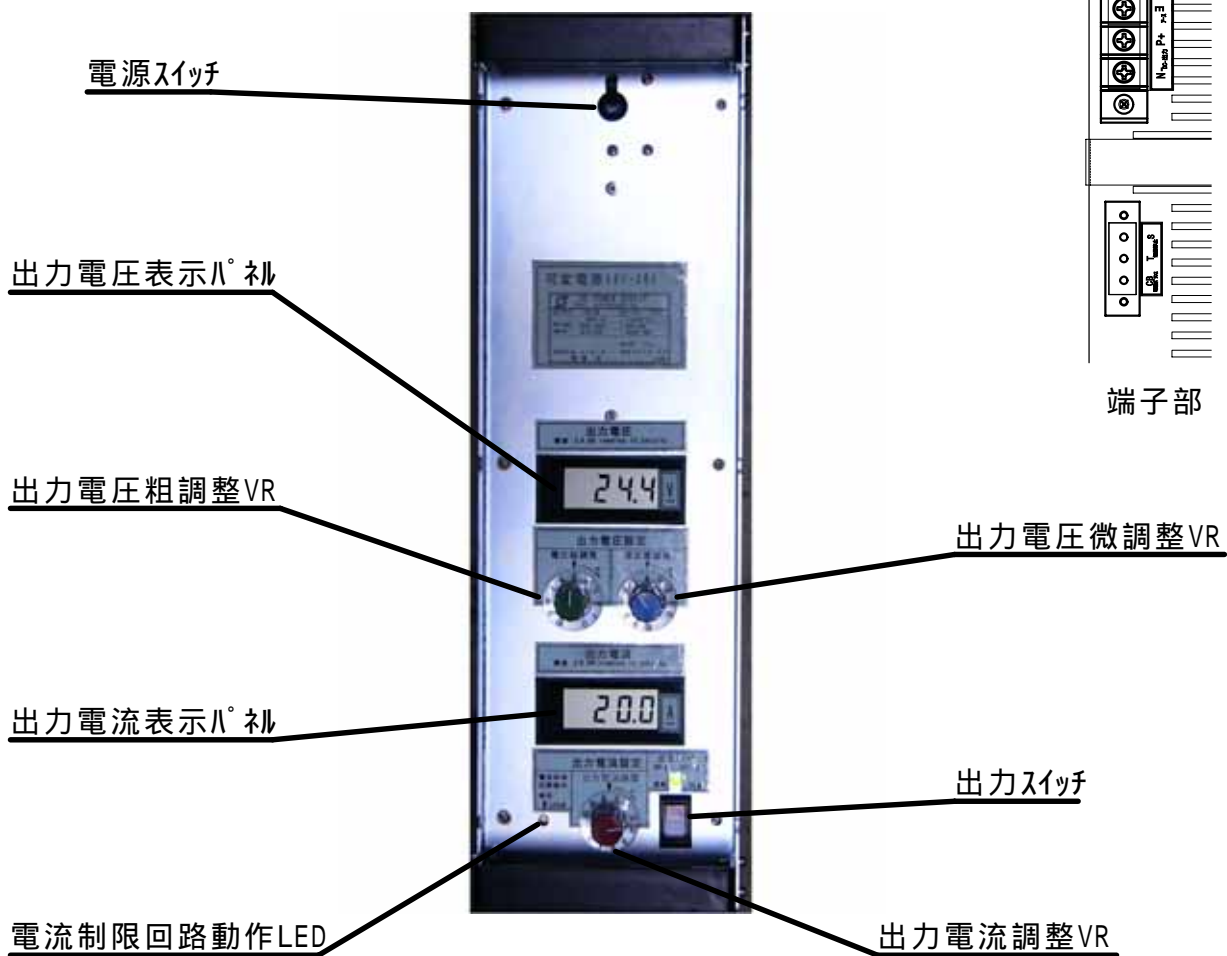
表示及び操作回路

電源スイッチ、出力通電表示LED緑、出力停止スイッチ、電流制限動作(CC)表示LED赤
出力電圧及び電流はデジタル表示器より表示されます。

デジタル表示器の精度は、±0.8%rdg(reading) +3.5digitsです。

参考資料

各部の名称



操作手順

1. 電源スイッチ、出力スイッチがOFFになっていることを確認し、AC100Vあるいは200V交流電源からの線を本機の端子INPUT U V に接続ください。接続線の太さは、最低2SQ以上の物を使用下さい。
2. 端子 E は、アース端子ですので感電防止及びノイズ防止のためにアースに接続して下さい。
3. 出力端子+P, -Nには、3.5SQ以上のケーブルを使用の上、負荷に接続下さい。
外部信号端子 S, Tは、短絡することで遠隔地からでも本機の出力をOFFにできる端子です。
S, T端子短絡時の流れ込み電流は約1mAです。
CB端子は本機の拡張機能で、他の同一可変電源装置の並列運転時に、双方のCB端子を接続することで、各出力電流を均等化する為のものです。単独運転時は何も接続しないで下さい。
4. 次に、出力スイッチがOFFになっていることを確認し、電源スイッチをONにして下さい。
本機は起動し、直流出力の待機状態になります。
出力電圧粗調整VRにより出力したい電圧を粗調整します。VRは5で約28V、10で約56Vです。
出力電流調整VRにより出力したい電流を調整します。VRは5で約15A、10で約30Aです。
5. 上記の出力設定が完了後、出力スイッチをONにすればDC出力が確立し運転LEDが点灯します。
出力電圧、出力電流は、各表示ハﾟ祉に表示された数値を参照し、各VRにより調整下さい。
なお、出力電圧微調整VRは、粗調整VRで設定した電圧の0~+10%の範囲での微調整が可能です。

注意事項

- ・電流制限回路が動作し、赤LEDが点灯している場合は出力電圧は上がりません。
- ・出力端子P, Nは短絡させないで下さい。